



学びの庭

学校教育目標

自ら学ぶ生徒 人を尊ぶ生徒 自ら鍛える生徒

人間によってつくられた差別なら人間の手で解消できる

(略) 12月10日の世界人権デーに合わせて、本校では、人権週間が始まりました。(略)

人権問題は、女性や高齢者、障害のある人、外国人に対する差別、いじめも含めてたくさんあります。

今朝は、特に「部落差別」について、皆さんに考えてもらいます。この部落差別については、小学6年生から中学3年生まで社会科の授業で毎年度学習しています。(略) 近くの人と学び合い、今までの学習を思い出して、部落差別を説明できるようにしてください。(学び合いタイム)

実は、「知らない」や「忘れた」などという状況が差別を解消できない要因の1つなのです。知らないということは、現代において、インターネット上に書かれていることを信じてしまう可能性が高くなります。自分は差別するつもりはなくても、誤った情報を信じたり、周りに流されて同和地区に対する偏見を抱いてしまったりしてしまうかもしれません。だからまず、正しい知識を身につけてください。

部落差別(同和問題)とは、日本社会の歴史過程で形作られた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれていることを強いられ、同和地区と呼ばれる地域の出身者であることなどを理由に結婚を反対されたり、就職などの日常生活の上で差別を受けたりしている、我が国固有の人権問題です。

表立った差別は減少したかもしれませんが。しかしながら、260年以上続いた江戸時代から明治時代になり、身分上差別されてきた人々の身分を廃止する1871年に「解放令」が出されて、今年で152年が過ぎましたが、現在も差別はなくなっていない。

いまだに結婚差別や就職差別をしたり、住居を選ぶ際にそこが「同和地区かどうか」を気にしたりする人たちもいます。また、近年は、インターネット上の掲示板などに同和地区や同和地区出身者などに対する誹謗中傷を匿名で書き込むというインターネットを悪用した差別問題が発生しています。仮想空間だけは、自分勝手にしてよいという誤った理解をしている人たちがいます。その人たちは、顔が見えないから生身の人間の痛みがわからないが故に、人の心を傷つけていても平気でいられるのではないかと思います。

あらゆる差別や偏見というのは、人間の違いを認めず、違いによって相手の人格に優劣をつけ、軽蔑し、排除する、これが世界共通の差別や偏見の構造だと言われております。(略) 21世紀は人権の世紀と言われています。人間によってつくられた差別ならきっと人間の手で解消できるはずです。今、そういう努力が私たちに求められているのだと思います。

では、皆さんが、差別を解消するためにできることは何ですか？(学び合いタイム)

最後に、長い間差別に苦しんできた人々が、差別と貧困からの解放を実現するために「全国水平社」を結成して、昨年で100年を迎えました。京都で行われた全国水平社の創立大会で、少年代表として16歳の山田孝野次郎(このじろう)さんが、演説で次のようなことを呼びかけました。「皆さん、大人も子供も一斉に立ち上がって、差別を打ち破りましょう。そして、光り輝く新しい世の中にしましょう。」

寄居中学校では、お互いの個性や違いを認め、相手を思いやり、部落差別はもちろん、すべての差別や偏見を絶滅させましょう。以上です。(12月全校朝会の一部より)

寄居中学校学力向上に向けて

全国学力・学習状況調査の分析と対策
埼玉県学力・学習状況調査の分析と対策

1 全国学力・学習状況調査結果

(1) 結果 (正答率 (%))

	中3	国語	算数・数学	英語 (新教材と旧)
本校平均正答率	67.0	45.0	37.0	
全国平均正答率	69.8	51.0	45.6	
全国比	95.9	88.2	81.1	

2 埼玉県学力・学習状況調査結果

(1) 結果 (正答率 (%))

	中1		中2			中3		
	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
県	100	100	100	100	100	100	100	100
町	90.3	87.6	89.2	93.9	87.8	83.1	79.8	80.2
本校	95.9	92.0	98.8	91.9	88.3	89.0	80.7	82.6

3 分析と対策 (R6 全国学力・学習状況調査に向けて)

【国語】語彙の意味の選択、歴史的仮名遣いは9割の生徒が正答し、漢字を書く問いでは5割弱の生徒が正答した。記事の内容をもとに自分の考えを書く問い、文章を参考に自分の考えを書く問いで成果があった。文の前後関係の語句の用法、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることに課題がある。読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめていく。また学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う課題を増やす。

【数学】数と式における条件もとの解答で8割を超えた。条件を考える問題では4割を切った。無回答の量から、データ処理における四分位範囲の意味を理解、関数のグラフからの必要情報の読み取り方、合同の証明における根拠から錯角につなげる思考に大きな課題がある。領域においての図形の問題、観点においての思・判・表の問題を繰り返し扱い、定着させていく。年間を通して、既習問題や特に図形、関数や考え(過程)を問う問題に取り組んでいく。答えを出したあとは導き方を共有する授業を進める。

【英語】情報を正確に聞き取る問題で8割を超えた。判断を要するものや必要な情報(要点)の聞き取りに課題がある。読解においては、必要な情報の読み取りに課題がある。既習事項、語彙の定着も必要。文章の概要を捉えることにも課題がある。初見の短いまとまりのある文章読解に取り組ませる。文章を読んだ上で自分の考えを書くことに課題があるので、I think~やI agree~などを、帯活動で取り組む。書くことに大きな課題がある。1文を写したり考えを書くことに取り組む。

【寄居中学校全体で今後進めていく対策】

- ・「教科を超えて考えを発信」 ⇒ 『学び合い』で発言を増加
- ・「問い及び文章の読解力」の向上 ⇒ 『思考ツール』を活用
- ・「自分の考えを書く力」の向上 ⇒ 『NIE(News paper in Education)』の取組
- ・「既習の学習内容」の確認及び定着 ⇒ 『eライブラリ』の活用
- ・「家庭学習の習慣化」⇒ 学調類似問題の配信、土曜塾への参加
- ・「テストを知る」⇒ 『全校朝会で全国学調や英検の抜粋問題』に挑戦

学力向上と自己効力感には大きな相関があります。自己効力感を高めるために、「家庭でできる3つのポイント」を紹介させていただきます。「1つ、努力を認める 2つ、励ます 3つ、信じる」が伝わる声掛け(眼差し)を送ることだと言われています。

12月行事予定

日	曜日	行事(12月)
1	金	がん教育講演会 14:45 ストープ使用開始
2	土	
3	日	第7回北辰テスト
4	月	全校朝会(人権) 後期人権週間 職員会議
5	火	生徒朝会(人権) スキー・スノーボード教室説明会
6	水	素点交換
7	木	PTA 交通安全指導 総合発表 薬物乱用防止教室 資源回収事前指導(第2回) 15:50
8	金	第2回調査書等作成委員会
9	土	資源回収(第2回) 8:30
10	日	
11	月	学力向上指定事業研究授業
12	火	
13	水	
14	木	生徒会の日 ふれあいデー
15	金	新入生説明会(5) 部活動見学(6)
16	土	
17	日	
18	月	職員研修
19	火	期末短縮(4)
20	水	期末短縮(4) 給食終了
21	木	期末短縮(3)
22	金	2学期終業式 職員会議
23	土	
24	日	
25	月	私立高調査書配付
26	火	
27	水	
28	木	部活大掃除
29	金	休日
30	土	
31	日	
行事(1月)		
1	月	元日
2	火	休日
3	水	休日
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	3学期始業式 職員会議

令和6年1月9日3学期始業式、10給食開始、11PTA安全指導、20(土)1・2年生英検(町費)、22私立入試中心日、25・26スキースノーボード教室、3年期末(2/5,6,7)、1・2年期末(2/19,20,21)、2月20、21県公立入試、3月15日卒業式、26修了式

